

# 研究レポート No.739 岩手県農業研究センター

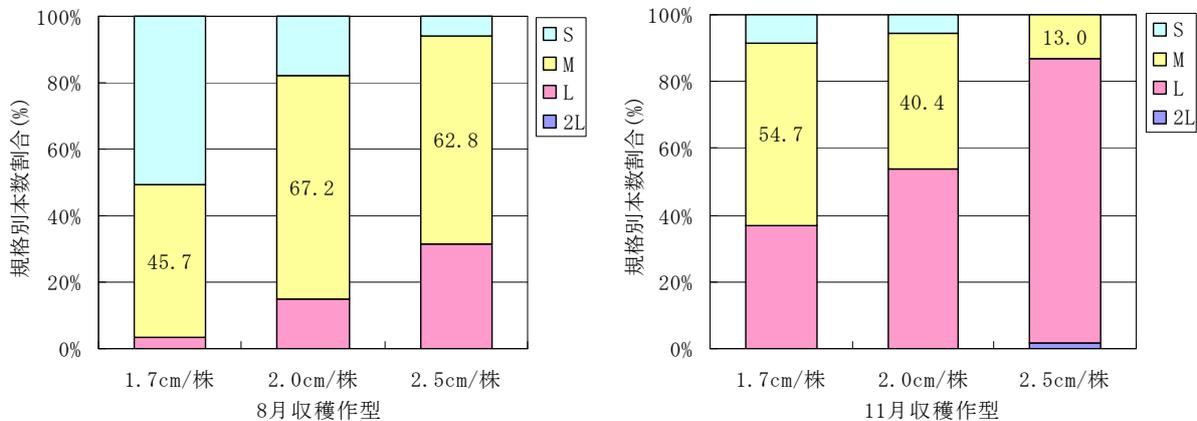
## 加工・業務用に求められる M 規格のねぎ栽培に適した栽植密度

### 【1 成果概要】

◎ 県北地域においては、加工・業務用（焼き鳥用原料）として使用するねぎの出荷が求められており、その規格は市場出荷用の M 規格にほぼ相当しています。市場出荷用のねぎは、L 規格を中心規格とし、栽植密度は株間 2.5～3.0cm を慣行としているため、M 規格を栽培するためには、より狭い栽植密度が必要とされます。

(1) M 規格割合を増やすには、セルトレイまたはチェーンポットを用いた育苗で、以下のように播種・定植します（図 1）。

作型	株間	セルトレイ（3粒播種）の場合	チェーンポット（CP303）の場合
8月収穫	2.0cm	6cm間隔で定植	2～3粒交互播種
11月収穫	1.7cm	5cm間隔で定植	3粒播種



規格区分 S : 1.0cm 以上 1.4cm 未満 M : 1.4cm 以上 1.7cm 未満 L : 1.7cm 以上 2.2cm 未満 2L : 2.2cm 以上 2.5cm 未満

図 1 収穫時におけるねぎの規格別本数割合（平成 25 年 8 月及び 11 月収穫、CP303 使用）



写真 焼き鳥用として使用されるねぎ

焼き鳥用ねぎは葉を使用しないため、カットして白根（葉鞘部）のみを使用します。

### 【2 期待される効果】

(1) M 規格のねぎが効率的に栽培され、計画的な出荷が可能となります。

### 【3 留意事項】

- (1) 株間を狭めると L 規格収量の減少や曲がりによる B 品が増加する傾向にあります。
- (2) 青果用の慣行栽培（株間 2.5cm）では、種子 40,000 粒・200 穴セルトレイ 67 枚/10a が必要ですが、株間 2.0cm では種子 50,000 粒・同セルトレイ 84 枚、株間 1.7cm では種子 58,823 粒・同セルトレイ 98 枚が必要となります。
- (3) ここでの規格は、現在取引のある特定の企業から求められているものです。

担当研究室 県北農業研究所 園芸研究室

〒028-6222 九戸郡軽米町大字山内 23-9-1

TEL. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011